

平成30年度 福岡県小郡市施策評価シート

【政策・施策名】

政策	5 生きる力を育む教育と地域文化づくり	
施策	7 文化財	施策コード
施策内容	1 文化財保護活動の推進	P5071
	2 文化財の活用	P5072
	3 小郡官衙遺跡群の整備・活用	P5073
	4 九州歴史資料館との連携	P5074
	5	
	6	
	7	
	8	
	9 その他	P5079

【施策の基本目標】

歴史に息づく文化財や文化遺産に関する認識を深め、地域や市民の総意で大事に守りながら、市民の誇りとなるよう努めます。また、情報を市内外へ発信し、教育・まちづくり・観光などにも活用していきます。

【投入されたコスト及び業務量】

投入コスト(千円)		H30年度決算
事業費（財源内訳）	国支出	17,573
	県支出	4,570
	地方債	58,467
	その他	19,467
	合計(千円)	117,894

※本施策の推進にかかった評価対象の事務事業費合計額を表示しています。

【施策の進捗状況・評価及び今後の施策展開】

教育部長	施策の進捗状況・評価	小郡官衙遺跡の平成27年度指定対象分の公有化を行い国指定エリアの保存ができた。市指定有形文化財「平田家住宅」の保存・活用のため、用地の公有化を実施した。古建築整備事業では、3か年をかけた旧松崎旅籠油屋の復原が完了した。文化財普及啓発では、小郡ふるさと歴史検定を実施し、歴史ジュニア博士と併せ文化財の普及啓発活動を行った。
	今後の施策展開	国指定の小郡官衙遺跡等については、今後の具体的な整備計画に基づいて進めていく。復原整備が完了した「旧松崎旅籠油屋」や公有化を進めている小郡「平田家住宅」についても、公開活用を視野にそれぞれを地域のコミュニティの活動拠点にして、地域の文化と歴史を基本とした教育・まちづくり・観光を推進していく。
	施策の進捗状況・評価	
	今後の施策展開	
	施策の進捗状況・評価	
	今後の施策展開	
副市長意見		

【第5次小郡市総合振興計画における成果指標】

成果指標番号	成果指標	担当課	担当係	基準値 (H26)	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R01年度実績	R02年度実績	最終目標 (R02)
75	国・県・市指定文化財の指定・登録件数	文化財課	文化財係	22件	23件	24件	25件	25件			25件
76	文化財の保全・活用に対する満足度(市民アンケート調査結果より)	経営戦略課	政策推進係	65.7%	—	—	—	—			66.0%

【施策を実現するための主な事務事業とその状況】

連番	施策コード	業務の性質	業務名	業務の概要	担当部署				平成30年度指示内容				
					部名	課名	係名		決定内容	指示内容	決定権者		
J004023	P5071	S1	史跡等総合活用支援推進事業	市内所在遺跡の発掘調査成果および歴史・民俗資料に関する情報を体系的に整理し、埋蔵文化財調査センター展示室・体験学習室、小郡官衙遺跡公園を始めとした史跡、埋蔵文化財調査センターホームページを活用して公開する。これによって、地域文化の醸成と文化財保護理念を広めるとともに、「歴史と文化の薫るまち」である小郡市を市内外へPRする。	教育部	文化財課	文化財係		拡大	学校教育や生涯学習との連携を進め、歴史を活用して郷土への愛着がもてる事業内容を検討し実施をしていくこと。	部長		
					成果指標	指標名		単位				H30実績	
						①	市民からの体験型学習会依頼回数	回				16	
					② 体験型学習講座参加人数					人	209		
J004024	P5072	S1	市内古建築整備事業	平成15年度に策定した油屋整備基本構想に基づき、市指定有形文化財旅籠油屋の文化財的価値を損なうことなく、松崎区を中心とした市民に公開活用するため整備する事業である。平成22年度に着手し、油屋本体の一部を公開した。平成24年度には構造上危険であった中油屋を解体・調査、平成25～26年度に復原を行い、市民に公開している。平成26年度には油屋敷地の公有化を実施し、広く市民に活用できるよう整備を進めている。平成27～28年度に油屋の解体を実施、平成28～30年度に復原を行い、市民に活用される場としての整備を進める計画である。平成30年度には松崎区および油屋を中心とした観光パンフレットを作成し、市内外からの観光客を誘致する。	教育部	文化財課	文化財係		終了	旅籠油屋の平成30年度末の復原完了を受け、今後の施設活用を検討していくこと。	部長		
					成果指標	指標名		単位				H30実績	
						①	油屋解体調査・保管・復原	件				1	
					②								
J004101	P5072	S1	伝承等文化資源調査活用事業	本市の自然や民俗を「地域の文化資源」としてとらえ、その視点から伝承や方言、身近な自然とそれに適合させてきた人々の生活についての聞き取り調査を進めていくことを中心に、並行して伝承遺称地、地域の文化財などについても調査・保存・整備を継続的に行之い、その特長を活かした地域活性化につなげていく。	教育部	文化財課	文化財係		終了	平成31年度に事業が確実に終了できるように、報告書	課長		
					成果指標	指標名		単位				H30実績	
						①	「聞き取り速集」、「報告書」等配布枚数	部				100	
					② 講演会・報告会等への参加人数					人	0		
J004315	P5071	S1	横隈山古墳公園整備事業	がけ崩れによる災害は、全国平均1,000件発生(h26国交省)しており、一旦発生すると地域の資産や人命に壊滅的な被害をもたらす。このため、土砂災害警戒地域及び特別警戒地域を含む横隈山古墳公園の整備事業として整備方針に基づいた対策を実施することで、がけ崩れによる被害を防止・軽減し、安全な古墳公園として周辺住環境をはじめ文化財としての利活用を図ることを目的とする。	教育部	文化財課	文化財係		終了	急傾斜地での安全対策工事と老朽化した排水施設の改修も併せて行うので、周辺住民に対して十分に配慮を行い、事業を進めていくこと。	部長		
					成果指標	指標名		単位				H30実績	
						①	保全対象人家戸数	戸				0	
					②								
J004401	P5071	S1	小郡市歴史文化基本構想策定事業	平成24年度から進めてきた小郡市内文化遺産再発見事業の成果を基に、一貫性を持って文化財保護政策を進めるための基本構想を策定する。まず、市内文化遺産悉皆調査のさらに詳細な追加調査を実施し、市内文化遺産の全体像の把握、各地域の特徴の抽出を行う。同時に市民・有識者などが一体となった策定委員会を編成し、パブリックコメントの実施などを通して、地域の魅力の増進・活性化を目指して、この基本構想を策定する。	教育部	文化財課	文化財係		終了	文化財に関するマスタープランである歴史文化基本構想は、地域の魅力の増進・活性化を推進していくためのものであり、地域住民や民間団体の協力を得て一体となって策定に関わって頂く必要がある。	部長		
					成果指標	指標名		単位				H30実績	
						①	小郡市歴史文化基本構想策定進捗率	%				40	
					②								

【施策を実現するための主な事務事業とその状況】

連番	施策コード	業務の性質	業務名	業務の概要	担当部署				平成30年度指示内容		
					部名	課名	係名		決定内容	指示内容	決定権者
J004429	P5072	S1	町家活用事業	平成28年度から平田家住宅の建物修繕を行う。建物修繕後は、小郡町家地区の地域コミュニティづくりと活性化を目的とした日本の伝統文化を学ぶ講座の開催や体験講座を実施する。また、平田家住宅の一部を利用して小郡市の近代化発展過程を学ぶことのできる資料展示を行う「小郡町家展示室」を一般公開する。展示室では町家地区の観光案内、地域産物の陳列等を行い、地域発展の拠点の一つとすることを目指す。	教育部	文化財課	文化財係		現状維持	NPOに委託する事業部分もあるが、今後の活用の方法について地元保存会との協議を行い、予算化と国への申請は市が主体となって行うので、遺漏なきよう事務を進めていくこと。	部長
					成果指標	指標名		単位	H30実績		
						①	平田家住宅の修繕	箇所	2		
						②					
J004461	P5079	S1	埋蔵文化財調査センター大規模改修事業	小郡市埋蔵文化財調査センターは、昭和61年(1986)の本館開館以来30年以上を経過し、平成18年(2006)の新館開館からも10年以上が経過した。近年、特に本館は施設・設備の劣化や故障が目立ち毎年修繕を繰り返してきたが、計画的な大規模修繕が求められる。また、新館は建設時の予算的な問題もあり、駐車場や収蔵庫周辺が砂利・土敷きのままである。これにより、収蔵資料が虫害等の危険に晒されていることはもちろん、近年の大雨が収蔵施設(別棟)の床面の腐食を引き起こしており、館が正常な機能を発揮するための改修工事を行う。	教育部	文化財課	文化財係		その他	2025年度に予定される埋蔵文化財調査センター大規模改修まで、日常管理・点検を徹底して、予防措置を講ずる必要がある。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績		
						①	-	-	-		
						②	-	-	-		
J000925	P5072	A	市内文化財団体育成業務	地域の文化財の保存を目的として、地元の文化財保存団体へ補助金を交付する。	教育部	文化財課	文化財係		負担の見直し	負担の見直し	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績		
						①	保存団体活動件数	件	10		
						②					
J000928	P5071	A	文化財普及啓発業務	学校教育・社会教育における郷土史分野の学習支援を行うと同時に、小郡市が持つ歴史的・文化的情報を市内外へ発信する。そのため、市内遺跡から出土した考古資料及び市内所在の歴史資料と、それらに関する情報の整理・収蔵・管理・提供を実施する。	教育部	文化財課	文化財係		拡大	小郡ふるさと歴史検定やジュニア歴史博士などの郷土愛を育む事業の充実並びに完成した旅籠油屋など市内各地にある文化財の更なる普及啓発に努めていくこと。	部長
					成果指標	指標名		単位	H30実績		
						①	学習指導受講者数	人	4,322		
						②	講座・展示の受講者・見学者数	人	1,570		
J000932	P5071	A	重要遺跡発掘調査業務	指定史跡及び今後指定が検討される史跡の内容確認のための発掘調査を行う。また、個人住宅の建築や零細事業者の開発等に係る発掘調査を行う。	教育部	文化財課	文化財係		現状維持	震災等の影響で構造補強が一段と厳しくなることが予想される。国の補助制度の理念をもう一度検討し、重要遺跡の補助制度を使うのかどうかという根本的な問題を検討しながらやってほしい。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績		
						①	発掘調査後開発された件数	件	1		
						②					
J000933	P5071	A	道路建設関係発掘調査業務	道路建設に伴い破壊される埋蔵文化財を保護する事を目的として、発掘調査を実施し、出土した遺物を保管するだけでなく、その成果を記録保存という形で保護し、後世に伝えるための事業である。	教育部	文化財課	文化財係		現状維持	市内外の開発事業課とのコミュニケーションを図り、新設道路については常に情報収集を行い対応をお願いしたい。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績		
						①	埋蔵文化財発掘調査報告書発行率	%	0		
						②					
J000936	P5071	A	緊急民間開発発掘調査業務	民間の開発事業に伴い、遺跡が壊される場合に発掘調査を行う。	教育部	文化財課	文化財係		現状維持	社会の動向を注視しながら、民間開発の対応に留意してほしい。また、費用負担の問題は、民間にとっては極めて重要なことなので、丁寧な説明を行ってほしい。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績		
						①	民間開発等に伴う発掘調査対象地(周知の埋蔵文化財包蔵地)	件数	178		
						②	民間開発等に伴う発掘調査対象面積	m ²	2,394		
J000937	P5071	A	緊急公共事業関係発掘調査業務	公共事業関係の開発に伴い、発掘調査を行う。	教育部	文化財課	文化財係		現状維持	公共事業であるので、一定の計画は把握できるが、近年では緊急の公共工事も入ってくる状況である。市道や都市計画線引きの変化などを十分に考慮して見通しを立てる必要がある。	課長
					成果指標	指標名		単位	H30実績		
						①	公共事業に伴う発掘調査対象箇所数	件	3		
						②	公共事業に伴う発掘調査対象面積	m ²	2,122		
J004460	P5071	A	平田家住宅公有化事業	市指定有形文化財 平田家住宅の一部建物改修と一般公開に向けた公有化を行う。	教育部	文化財課	文化財係		拡大	教育委員会で策定する保存管理計画に従って、平田家住宅に係る公有化を計画的に進めていくこと。	部長
					成果指標	指標名		単位	H30実績		
						①	-	-	-		
						②	-	-	-		